

事務事業評価票

様式第2号

担当課	病院事務部	総務課	庶務係	事務事業No.	801115
事務事業名	総合診療医育成事業			会計	病院事業会計
まちづくりのテーマ	第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち			款	項
施策目標	健康で長生きできる社会の実現				
施策項目	地域に密着した医療提供				
前期計画掲載頁	63~64	頁	個別計画		頁
事業期間	平成25年	~	平成30年	根拠法令・要綱等	

事業の目的
 信州大学医学部附属病院総合診療科の研修病院として指導医及び研修医の派遣を受け、総合診療医の育成を行うとともに、総合診療、内科を通じて地域医療の充実を図る。

事業内容
 信州大学医学部附属病院総合診療科の研修病院に指定され、平成25年度から指導医及び研修医の派遣を受け、主に内科患者の入院、外来診療を行うとともに日当直等、救急医療を行う。また、診療所や近隣病院等と連携する中で、初期、後期研修医を育成する。

事業費	財源内訳	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		総事業費（決算額）	30,789 円	39,829 円	28,021 円
		国庫支出金	円	円	円
		県支出金	11,940 円	円	円
		起債	円	円	円
		その他財源	円	円	円
	一般財源	18,849 円	39,829 円	28,021 円	

活動指標	指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①							
	②							

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	初期・後期研修医（信大等）	11	10	8	9	88.9%	9
	②	後期研修医（当院）	2	3	3	3	100.0%	2
	③	初期研修医（当院）	1	2	5	5	100.0%	6
	2. 数値で表せない効果							
（指標 ①）については短期（1~3か月）、②については、原則3年、③については2年 当院で後期研修を修了した医師が引き続き常勤医師として勤務。この他、信大医学生が実習に訪れている。								

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	普通	高い	重複なし	普通	適正である			
点数	3	2	3	3	2	3				

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）

平成25年度から徐々に充実してきており、当院の内科診療の中核を担っているとともに、地域ニーズが高い訪問診療を始め、在宅医療にも取り組み、地域医療に貢献している。患者の高齢化に伴い複数の疾患を有する患者が増加している状況から、総合診療科の診療体制の拡充と合わせ、内科の専門医等と連携した診療を充実していく必要がある。

改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）

医師不足病院においては、臨床研修の充実が医師確保に有効であり、基幹型の初期研修とともに、H29年10月に認定された「総合診療専門研修プログラム」に基づく後期研修医を確保する。専門医の招へいの際は、総合診療科のバックアップをアピールするなど、活動を強化する。